

1. 園の教育目標

<p>「神おさな児を守りたもう」</p> <p>キリスト教の精神に基づき、大きな恵みの中でゆったりと安心と安全な生活を送ることが出来るようにと望んでいます。</p> <p>毎日の生活の中で遊びを通して、他人を思いやる豊かな感性が育つようにと望んでいます。</p> <p>明るく、元気に、のびのびと育ててほしいと望みます。</p> <p><保育方針> ・乳幼児に優しい環境の構成を整える</p> <p>・豊かな感性を育てる</p> <p>・他人を思いやる優しい心を育てる</p>
--

2. 本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画

<ul style="list-style-type: none"> ・三本の柱 食育（ごはんちゃん）、森のようちえん（園外保育）、こども聖歌隊「スマイル」の充実。 ・乳幼児に対して温かい家庭の様に環境を整え見守る ・園内研修の充実 ・近隣地域との交流 ・小学校との連携
--

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組み状況
園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育目標を基に編成している	子どもの主体的な活動が十分確保される様に配慮し、年間計画・月間計画・週案・日案と細部に到るまで作成し、教職員間の共通理解を持ちながら保育に携わっている。
乳児期にふさわしい指導計画を作成している。 幼児の発達に即して幼児期にふさわしい生活を展開できるように具体的に指導計画を作成している	日々の乳児の姿から、環境を整え常に寄り添って見守るように心がける。 遊びを中心として生活の流れを通して、一人一人に応じた総合的な保育が出来る様にと心がけて作成している。 しかし、時には計画倒れになっている事もある。
安全で清潔感のある環境構成をしている	2018年3月新園舎完成、4月1日より「幼保連携型認定こども園」として新たに発足した。それに伴い、教育課程を見直し環境構成を整え、希望を持って歩む。 塩素系消毒水、手洗い、うがいを徹底している。
幼児の一人ひとりのありのままの姿を受け入れ、その子のよさを認めるように心がけている	一人一人の良さを認め、出来るだけ伸ばしていこうと心がけている。 毎日の振り返りの中で報告・連絡をしている。
保護者に対し、幼児や自分の保育のことをわかりやすく話し、保護者との信頼関係を築くよう努めている	ホームページや送り迎えの時、又は電話で密に行なっている。 個人面談や個人的に相談のある時など、保護者に寄り添って話しやすい環境を心がけている。
地域や社会とのかかわりをもつよう努めている	バザーは地域社会の交流の場となっている。 障害者施設「おおぞら園」と交流し、支援の一端を担っている。

保育者としての専門性を高めるための各研修会に積極的に参加している	各教諭が自発的に研修に参加している。これらが日々の保育に活かせるように努力していくことを望む。 各研修会には参加しているが、これからはもう少し幅を広げて、片寄りのない様に学んでいきたいと思う。
人事管理・財務管理を適正に行っている	公認会計士により適正に運営されていると認められている。

4. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
情報公開	ホームページや手紙の他に、保育参観日などオープンに出入りする機会があってもよいと考えている。
安全管理	園舎の維持管理を十分に行なう必要がある。 今まで以上に避難訓練の充実と実務を行なう必要がある。
特殊支援教育	それぞれに異なった支援の子に対して、その子に見合った支援が出来る様に努めていく必要がある。年々、重度の障害の子が多くなっており、関係機関との連携を図ると共に、教職員に対する研修を充実させる必要がある。 また、支援の子の親に対する支援の大切さを感じる。